

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.7.25 No. 202 連絡先 FAX 042-555-1911



MV22オスプレイ2機 横田経由で日本列島縦断 国民の命無視



7月20日、北海道航空協会が主催する航空イベントにMV22オスプレイ2機を展示。途中、給油で19日と21日、横田基地に飛来しました。

19日：7時30分岩国基地を離陸。9時12分と18分に横田基地に着陸。11時48分と56分に離陸。

21日：9時45分札幌飛行場を離陸。11時41分と44分に横田基地に着陸。13時54分2機、離陸。15時32分に岩国基地に着陸（太字：北関東防衛局職員による目視時刻）。2機は虎のマークの5番と9番。写真は19日、横田を離陸するオスプレイ。

← オスプレイくるな！抗議集会

緊急でしたが、横田基地関係の5つの団体（横田基地の撤去を求める西多摩の会、横田基地問題を考える会、横田基地もいらない！市民交流集会実行委員会、第2次新横田基地公害訴訟原告団、第9次横田基地公害訴訟原告団）が「7・19オスプレイくるな！抗議集会」を呼びかけ、全都から300人が駆けつけました。多くの団体からの連帯あいさつと、呼びかけ団体から決意表明がありました。



← オスプレイくるな！防衛省交渉

15日、東京平和委員会等が防衛省交渉しました。オスプレイの飛行コースも分からず、糠に釘で手ごたえのない対応でしたが、飛行高度は住宅密集地では地上300m以上と答えました。



← 第64回横田撤去座り込み 121人参加

20日は、毎月第3日曜日の横田基地前の座り込み行動でした。曇りときどき雨の天気で、熱中症の心配なし。

座り込みには、東京反核平和ウォーキングの皆さん、各地の9条の会や新婦人の皆さんなどで121人の大きな輪になりました。新婦人すみだ支部は「日本を戦争する国にしてはならぬ！横田基地は今すぐ撤去を ～子どもたちに明るい未来を～」の横断幕をもった参加です。



MV22 オスプレイ 15日は厚木経由キャンプ富士へ

(No. 202 の裏面)

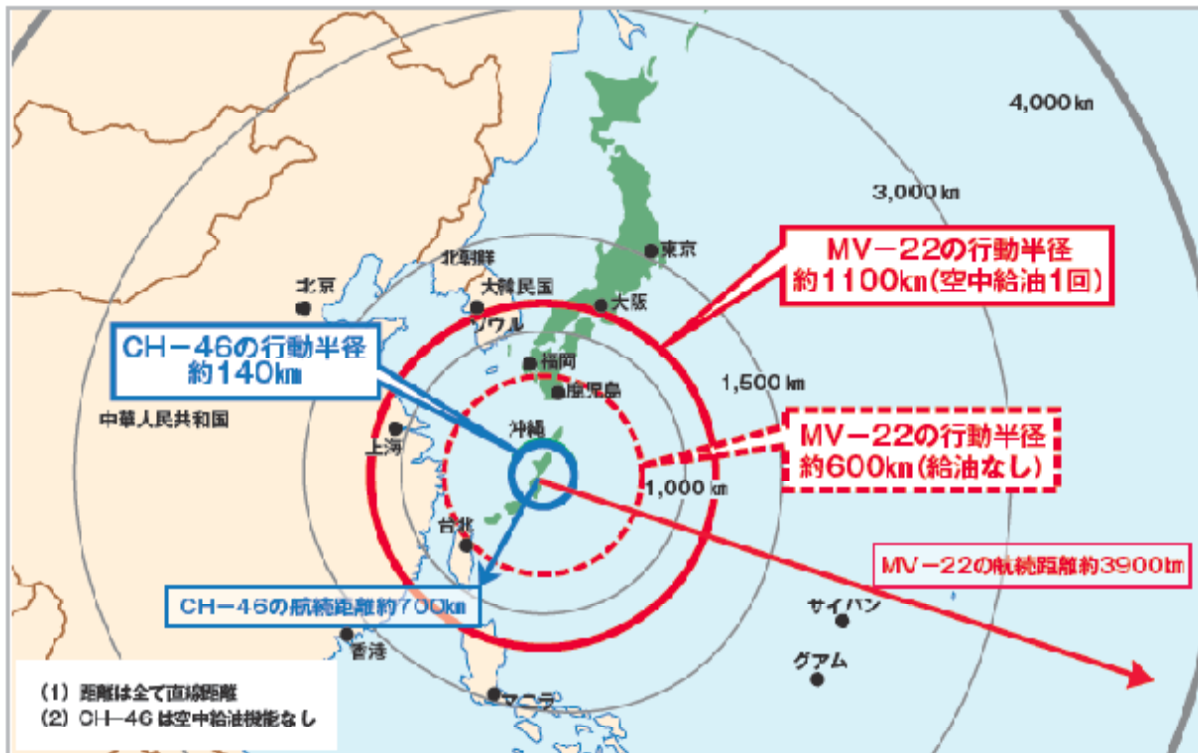


兵員輸送ということで、MV22 オスプレイ 1機が、15日正午、普天間基地を飛び立ち、午後3時24分、厚木基地に給油のため着陸。着陸は滑走路延長線から降りてきましたが、高度は航空機の2倍以上の高さで、驚くほどスムーズに「普通のヘリの音」くらい。市民やメディアに低周波、爆音を意識させないための

(写真は神奈川平和委員会提供) 措置だったのでは、の声がありました。約1時間後離陸。

キャンプ富士には午後4時47分に、低空で、かなりの爆音で、到着しました。18日にオスプレイはキャンプ富士を離陸しました。この機体は尾翼に竜のマークの9番でした。

MV-22 オスプレイの行動半径 (防衛省パンフレットより)



最大速度 約520 km/h
巡航速度 約490 km/h
航続距離 約3900km
行動半径 約600km(兵員24名搭載時)
輸送兵員数 24名
搭乗員数 3~4名
貨物(外部) 約5700kg
最大飛行高度 約7500m



沖縄-広島コース 福岡県内行進も終盤 (撤去の会渡邊さんより)

7月17日、行進団が北九州市黒崎駅近くの到着場所に着くと、私のオレンジ色のタスキを目にしたのか、両手を大きく広げ「いやあ、ようこそ八幡へ」と言い、両手を差し出してこられたので慌てて手を出しました。小沢和秋氏(元衆議員)、平和行進福岡県実行委員長。八幡製鉄元労働者82歳。小沢さんの握力の強さにびっくりしました。この日の終結集会終了後黒崎駅前にて反核署名行動を行いました。署名のとり組みの歴史は古く、1984年八幡製鉄の労働者を中心に会がつくられ、その年の3月、第1回目の署名行動を実施したと、実行委員の話。以来30年間署名・宣伝活動をつづけ、現在までのところ黒崎駅にて1,048回行っているとのことでした。署名用紙をのせるA2版くらいの板は30年前から同じ木製で、いかにも使いこなしてきた古さを感じさせるものでした。小沢和秋さんも反核署名行動に参加され、マイクを握り顔から首筋までぐっしょり汗で濡れていました。

…7月19日・福生公園 原水爆禁止国民平和行進の西多摩地域の終結集会でした…